

やまなし自然首都圏構想研究会 第7回自然首都圏構想推進部会概要

1. 日時

令和3年12月23日（木） 11:00～12:00

2. 場所

山梨県東京事務所会議室（テレビ会議システム）

3. 出席者（敬称略）

（ゲスト）中村和男

（座長）東博暢

（委員）清水喜彦、中村成志、野村 明弘、山崎豪敏 ※五十音順、敬称略

（ 県 ）長崎幸太郎知事

4. 意見交換における主な発言

[議事『文化芸術による地域活性化②』]

- ・ 山梨は「縄文銀座」であり、サイエンスとアートという視点で見直すことが大事。縄文の中の創造性はものすごいエネルギーであり、海外でも評価が高い。
- ・ 縄文の素晴らしさを訴求するにあたっては、長野県（特に中信地域）と連携して進めるべき。中信地域は、明治期には製糸産業が盛んで、甲州商人とのつながりもあるため、縄文をきっかけとした連携から、明治の産業振興を切り口とした連携に広げるのもよい。
- ・ ラグジュアリーツーリズムを推進する動きが出始めており、山梨からそれを仕掛けるにはいいタイミング。
- ・ 観光振興の要点は、いかにして滞在してもらい、リピーターになってもらうか。
- ・ 文化芸術による地域活性化のキーはクリエイターであり、デリバラブル（成果物）をどうするかが非常に大事。クリエイターに対してリラックスできる非日常を提供し、それぞれの個性を発揮できるようにしてあげることが重要。
- ・ クリエイターをキーにイベント等を実施するにあたっては、個人のつながりを活かして小規模に始め、並行して、規模の拡大を見据えた準備も進めるべき。
- ・ 今後取り組むべきことは、映画のロケ地の誘致、クリエイターズキャンプ、キッズサマーキャンプ等。キッズサマーキャンプについては、海外の富裕層に向けて、子供に同行する家族のニーズにも配慮が必要しつつ、京都と連携して、山梨から京都に抜けるようなコースをアレンジするとよい。
- ・ 大使館の婦人を招いてステイしてもらうのも効果的。
- ・ 信玄公祭りに合わせて、騎馬隊が棒道を歩いたり、小海線を襲撃したりするのも面白い。

など